



第 81 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日 時： 2024 年 9 月 8 日(日) 9:40~15:10 (受付開始 9:00~)

○会 場： 山梨県立図書館 山梨県立図書館 1F イベントスペース
〒400-0024 山梨県甲府市北口 2 丁目 8-1
JR 中央本線 甲府駅北口より徒歩 3 分
TEL:055-255-1040(代)
<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

○会 長： 谷口 直史(山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション科)

○運営事務局： 山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション科
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
TEL:055-273-6768 (整形外科医局直通)
FAX:055-273-9241



-- 開催概要 --

○参加費等

- ・地方会参加費 医師:3,000 円、メディカルスタッフ:1,000 円、学生:無料
- ・日本リハビリテーション医学会生涯教育研修会 1 演 1,000 円
- ・日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1,000 円

○単位認定

・地方会参加

日本専門医機構専門医は 1 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位)
認定専門医は 10 単位

・生涯教育研修会

日本専門医機構専門医は 1 講演 1 単位
認定臨床医は 10 単位

日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1 単位

必須分野:講演 1(11、13、Re) 講演 2(8、13、Re)

※日整会単位申請には会員証の QR コードが必要です。必ずご準備ください。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。
利益相反がない場合もスライドで表示してください。

-- 参加者の皆様へ --

1. 受付にて参加費をお支払い後、領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください
参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
※事前参加登録済みの方は受付にてお名前をお伝えください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1講演につき 1,000 円をお支払い後、領収書をお受け取りください。
専門医・認定臨床医資格更新のため単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。
認定臨床医受験資格取得のため単位取得をご希望の方は、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。
いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。
3. 日本整形外科学会教育研修会認定単位をご希望の方は、1 講演につき受講料 1,000 円をお支払い後、領収書をお受け取りください。講演開始前に領収書を受付スタッフに提示し、QR コードをリーダーにかざしてください。

4. プログラムはPDF 版のみとなります。必要な方は事前に印刷してお持ちください。
5. 会場周辺には飲食店やコンビニエンスストアがございいますが、今回はランチョンセミナーのほかに、おやつセミナーを準備しております。山梨県のおやつをお召し上がりください。

-- 一般演題ご発表の先生方へ --

1. 発表方法

- ① 発表時間は5分、質疑応答は3分です。発表時間は厳守してください。
- ② 発表はPCを使います。会場演者PCは、Windows / PowerPoint2019 接続を予定しています。
- ③ 発表データは、ウイルスチェック済みのUSBフラッシュメモリでお持ち込みください。
(タブレット端末やノートPCお持ち込みによる発表はできません。Macintoshをご利用の方は、フォントを含む互換性確認済みのPowerPoint2019でご準備をお願いいたします。)
- ④ 発表時はCOI開示のスライドをご提示ください。
- ⑤ 発表の順番が近づきましたら、次演者席、次々演者席にて待機してください。

2. PC データ事前受付

講演セッション開始30分前までにPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

3. 発表データについて

- ① PPT ファイル名は「演題番号_ 演者名.pptx」にしてください。
- ② スライドサイズは標準(16:9)で作成ください。
- ③ フォントはOS 標準のもののみをご使用ください。
- ④ USBメモリのウイルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行ってください。

【一般演題:第 1 部】 9:40~10:40

座長:安藤 隆(甲州リハビリテーション病院)

1. 拡張相肥大型心筋症に心臓リハビリテーション治療を継続し、長期在宅補助人工心臓治療を開始した 1 例
帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科¹⁾
帝京大学医学部附属溝口病院内科²⁾
東京大学医学部附属病院循環器内科³⁾
帝京大学医学部リハビリテーション医学講座⁴⁾
○内田恵理香¹⁾、高橋慎司²⁾、鈴木伸明²⁾、原 眞純²⁾、徳永貴久¹⁾、原 元彦¹⁾、網谷英介³⁾、
中原康雄⁴⁾、緒方直史⁴⁾
2. 人工股関節全置換術術後における膝関節伸展・屈曲筋力の推移
山梨大学附属病院リハビリテーション科¹⁾
山梨大学整形外科²⁾
○弦間 崇^{1, 2)}、谷口直史¹⁾、波呂浩孝²⁾
3. 発展途上国で下腿切断を行い不良断端となり義足作製に難渋した一例
横浜市立大学附属病院リハビリテーション科¹⁾
横浜市障害者更生相談所²⁾
横浜市総合リハビリテーションセンター³⁾
○橋本直樹¹⁾、中村 健¹⁾、梅本安則¹⁾、立花佳枝¹⁾、原木 望¹⁾、稗田保奈美¹⁾、栗林 環²⁾、
高岡 徹³⁾、横井 剛³⁾
4. 心肺蘇生後の不随意運動に対し、薬物療法とリハビリテーション治療が有効であった 1 例
初台リハビリテーション病院¹⁾
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾
○王 智鵬¹⁾、中西健太¹⁾、宇内 景¹⁾、菅原英和¹⁾、辻 哲也²⁾
5. 頻尿を主訴とする導尿患者において膀胱内異物を診断した一例
国立病院機構村山医療センターリハビリテーション科¹⁾
国立病院機構村山医療センター整形外科²⁾
慶應義塾大学病院リハビリテーション医学教室³⁾
○川村優貴子¹⁾、植村 修¹⁾、中野英頭¹⁾、堤 聡志¹⁾、山崎俊槻¹⁾、下村忠賛¹⁾、竹光正和²⁾、
辻 哲也³⁾

6. 大腿骨近位部骨折患者の受傷前の歩行レベルと受傷側の関係性についての検討
国立病院機構甲府病院リハビリテーション科¹⁾
国立病院機構甲府病院整形外科²⁾
○立石貴之¹⁾、吉井 諒¹⁾、山下 隆²⁾、萩野哲男^{1, 2)}
7. 成人脊柱変形と腰部脊柱管狭窄症のロコモティブシンドロームの特徴の比較検討
～ロコモ 25 質問票を用いて～
山梨大学附属病院リハビリテーション科¹⁾
山梨大学整形外科²⁾
○久保川将志^{1, 2)}、大場哲郎¹⁾、谷口直史²⁾、波呂浩孝^{1, 2)}

【一般演題:第 2 部】 10:40～11:40

座長:小尾 公美子(甲府北口駅前リハビリテーションクリニック)

8. 脳梗塞後に看護師国家試験に合格し一般就労に至った一症例
東京慈恵会医科大学リハビリテーション科
○増田和明、鈴木 慎、吉田健太郎、木下翔司、柏原一水、濱 碧、安保雅博
9. rTMS が著効した認知機能低下を伴う Long-COVID の1例
聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション医学講座
○河村 惟、佐々木信幸、山徳雅人、永富彰仁、手計 順
10. 脳出血による摂食嚥下障害に反復性末梢性磁気刺激(repetitive peripheral magnetic stimulation: rPMS)が奏功した 1 例
初台リハビリテーション病院診療部
○影嶋伶奈、菅原英和、石井 暁
11. COVID-19 罹患後に重度呼吸機能障害をおこした一例
中東遠総合医療センターリハビリテーション科¹⁾
東海大学医学部リハビリテーション科²⁾
○内藤隆行¹⁾、渡邊浩司¹⁾、小笹陽子¹⁾、水野勝広²⁾
12. NORSE 重症例において、痙性麻痺出現の予測が困難であった 1 例
東京慈恵会医科大学葛飾医療センターリハビリテーション科¹⁾
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座²⁾
○小田隆之¹⁾、木村郁夫¹⁾、吉田健太郎²⁾、奥山由美¹⁾、安保雅博²⁾
13. 新たな ADL 自立判定システム(STAND 評価)導入による転倒・転落件数の減少
甲州リハビリテーション病院
○安藤 隆、鈴木雅也、佐藤吉沖

14. 神経障害の回復に長期間を要したビッカーstaff型脳幹脳炎のリハビリテーション治療の
経験

国際医療福祉大学三田病院リハビリテーション科¹⁾

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座²⁾

○橋本弦太郎¹⁾、吉田健太郎²⁾、安保雅博²⁾

ランチョンセミナー

共催:旭化成ファーマ株式会社

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会:講演 1】 12:30~13:30

日本整形外科学会教育研修会 必須分野番号:11、13、Re

座長:谷口直史(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション科)

「股関節手術のリハビリテーション診療 -骨粗鬆症管理の重要性を含め-

神野 哲也 先生

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 教授

総会 13:35~13:50 (山梨県立図書館 1F イベントスペース)

おやつセミナー

共催:帝人ヘルスケア株式会社

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会:講演 2】 14:00~15:00

日本整形外科学会教育研修会 必須分野番号:8、13、Re

座長:萩野哲男(国立病院機構甲府病院)

「ロボットスーツ医療用下肢タイプの臨床と機能再生メカニズム-痙縮におけるリハビリテーション-

中島 孝 先生

国立病院機構新潟病院 院長

本学術集会の開催にあたり、皆さまから多大なるご協力を賜りました
ここに深甚なる感謝の意を表します

第 81 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 会長 谷口直史